

# ヨシ原再生活動に尽力

## はぐくむ

● 2 ●

NPO法人りあすの森 子どもたちを対象にした  
(熊谷秋雄代表理事)は、自然体験活動と、東日本  
子どもたちを対象にした

大震災で流失した北上川 機会をつくらう」と発足  
のヨシ原の再生活動に尽 した。 共同の精神も育まれる」  
力している。震災で失わ 活動開始以来、主に小  
れたヨシ原と子どもたち 中学生を対象にヨシを使  
の笑顔を取り戻すため、 用した自然体験活動を開  
2012年2月に「子ども 催。ヨシ船やヨシペン作  
もたちが自然と触れ合う りなどに参加した子ども  
たちを楽しませながら、 証書作りを行っている。  
北上のヨシの歴史や伝統 河北地区のヨシの刈り取  
などを伝えている。 りから紙すきまでを見童  
「大切にしているの が経験。3月の卒業式ま  
は外で体験させること でに証書が完成する予定  
と、子どもたちに考え だ。



ヨシを刈り取る北上小の児童。2014年9月30日、石巻市三輪田の  
北上川(NPO法人りあすの森提供)

## 子どもにも自然体験 共同の精神を培う

る余地を与えること」 石巻市北上町十三浜の 活動にも精を出す。震災 自然体験をさせる、滞  
と話すのは武山文衛顧 里山活動センター「秋丸」 で沈下した北上川下流域 在型の企画を考えてい  
間(66)。昨年8月の就任 は自然体験活動の拠点。 のかさ上げ工事などで自 流。交流人口を増やし、  
以来、6年前まで旧北 乗馬体験やキャンプなど 然再生事業を進めるよう 県外の人々にも北上の  
上町役場で町づくりに を開催している。夏に行 求める署名活動を昨年8 自然を伝えていきたい」  
奔走した経験を生かし、 われる3日間のサマーキ ャンプには県内外の小中 月から行っており、11月 と語る。  
イベントの企画などをし ャンプには県内外の小中 末時点で約7000人分 ヨシを育み、子どもを  
ている。 学生が参加。敷地内の水 が集まった。 育むりあすの森。北上の

武山顧問は「暮らし 田で田植えしたり、畑に 新年の展望として、  
の中でなかなか触れる機 サツマイモを植えたり 武山顧問は「県外の都 発展と子どもたちの未来  
会が無い自然体験は、 し、自然の中で育て、食 を見詰めるながら、活動に  
子どもたちの情操に結び べるまでの流れを学んで 励む。  
つく。子ども同士で共 いる。」

同作業をすることで、 北上地区の自然を守る 本部の営業時間は午前8 時〜午後5時。石巻市北  
上町橋浦大須1833の  
2.連絡先は0225(5)6  
7)3767。

NPO法人りあすの森(石巻市)